

会計人の教養

4

2016 APRIL



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p> <div style="margin-left: 150px;"> <p>} 各3回繰り返す</p> </div>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

会計人の教養

4

ひとりひとりが経営者

21	20	19	18	16	15	14	13	12	11	9	8	7	6	5	4	2	1
木	水	火	月	土	金	木	水	火	月	土	金	木	水	火	月	土	金
マナー	フランチヤイズ	メモ	本の読み方	なぜ今、 内部統制なのか	人間観察	嘘	趣味の可能性	気づく	管理会計	真田丸	M&Aの理想形	スペシャリスト& ヒューマニスト	何のために働くのか	人生の分岐点	B商店	潜在能力	教養
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1



30 28 27 26 25 23 22

土 木 水 火 月 土 金

自信 共感の力 幽霊 親への感謝の想い 学校について 言語 感謝を伝える

25 24 23 22 21 20 19

2016 APRIL 平成28年 卯月[うづき]

第2巻4号(通算10号)

【月初のつぶやき】

朝方に冷え込んだかと思うと、夜に急に暖かくなったり、季節の変わり目のせいでしょうか、落ち着かない気候になりました。みなさん、体調管理を怠らないように気を付けてください。

3期生の経理本科は、就職活動が始まっており、企業説明会や企業調査など、各人がやるべきことを、精一杯こなしている姿を見かけるようになりました。税理士科は、4ヶ月後の税理士試験に向け、気が引き締まってきたかと思えます。みなさんが過ごしている今は、確実に、将来を生きる糧になります。たとえ失敗しても、それは後退ではなく、意味のある前進です。諦めないで、突き進みましょう。

今月の目標

私たちが日々学んでいる複式簿記は、総合的な学問と言われています。複式簿記を本当の意味で極めるためには、経済学や経営学、哲学などといった幅広い知識、即ち「教養」を同時に養わなければなりません。

また、幅広い教養がなければ、視野が狭く、自分の枠内だけで生きる融通の利かない人にもなりかねません。

教養を養うためには、興味関心の幅を拡大することが先決です。「好きこそものの上手なれ」と言うように、人間は興味関心のある事は、自ら探求し、知識として定着しやすい傾向にあります。

しかし、知識を習得しただけでは、単なる頭でっかちに過ぎません。知識に人格が備わって、初めて真の教養人になるのだと私は考えます。

私たちも、来年はそれぞれの就職先で仕事をする事になります。一社会人として、真の教養を身に付ける必要があるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆教養を養い、心を育てましょう。

人間には、潜在能力があると言われていました。潜在能力とは、別の言い方でポテンシャルともいいます。

人間は、少なくとも今出している力の3万倍以上の潜在能力が眠っており、その力を開放するためには、習慣を変えることが大切であると提唱ていしょうされています。

特に、朝の習慣を変えることが、潜在能力を開放する近道ちかみちのようです。

例えば、今まで朝起きて何もしていなかった時間を、本を読む時間に変えてみたり、朝から暗い気分である時には、布団ふとんの中で明るい言葉を叫んでみたりしてみるのもいいと思います。

無駄な習慣をいい習慣に変えてみる。これが、潜在能力を開放する近道ではないでしょうか。

今日の心がけ◆いい習慣を身に付けましょう。

入学してから今まで、数えきれないくらい簿記の問題を解いてきました。

その中で、学生に一番つらかった問題を聞くと、100%の確率で「B商店」と言います。

B商店は、1年間の取引を、正しい手順で全ての帳簿に記入する、一巡の問題です。集中力・注意力・忍耐力の3つを身に付ける要素が盛り込まれているため、先生方は、私たちに解くことを勧め^{すす}てくださいます。

しかし、何よりも、1年分の処理を通じて全体を把握する、学習の原点としての役割を果たしていると思います。私たちがこれからも簿記の問題を解いていく中で、最も大事なことは、全体像を頭に入れることです。

問題が解けずに苦しんでいるときは、いったん原点に戻ってみるのもいいかもしれません。

今日の心がけ◆本質を追求しましょう。

人間であれば、誰しもが歩む人生という長く険しい道のり。大抵の人は、その行く先々で、これからの人生を揺るがす、ある大きな分岐点に差し掛かることかと思えます。

そのたびに、己おのれの道筋、未来のビジョンがはっきり見えて即決できる人もいれば、どこを見渡しても果てしなく続く道があるだけで、先行きがまるでわからず、不安に苛さいなまれる人もいます。

しかし、運命論という考え方がるように、私は、時間をかけて苦しんだ末すえに選んだ道だろうとそうでなかりうと、辿りつくゴールというのは大差ないように思います。

人生二度なし、その選択を後悔しても、一度過ぎた人生と同じ時間を共有してリプレイすることは不可能ですし、何が最善解であったのかも、永遠に知りえることはありません。

どうせ、一度きりでやり直しがきかない人生なら、リスクなんて重苦しいことは考えず、自分の生きたい道を軽い気持ちで選んでみるのも、また一興いっせきようではないかと思えます。

今日の心がけ◆たまには気楽に生きてみましょう。

何のために働くのか

「人は何のために働くのだろう。」そう考えたことのある人もいるでしょう。

人は遅かれ早かれ、いつかは社会に出て働くことになります。経済的に豊かとなり、不自由なく生活ができるようになったこの日本において、働く意味を見失う人は少なくはありません。

「何のために働くのか」と問われたときに、「お金を稼ぐため」「生活をするため」と考える人も多いと思います。もちろんそれらのことは働くことの第一義であり、大切なことだと思えます。

しかし、働く目的はお金を得るためだけではありません。何のために働くのか、それに対する答えは無数に存在します。ほかの誰かの正解は自分の答えではありません。

人生をより良いものにするために、今一度、何のために働くのか、考えてみてはどうでしょうか。

今日の心がけ◆働くことの目的を考えてみましょう。

世界最大級のカルデラを持つ、ここ熊本県に「スペシャリスト&ヒューマニスト」を目指す専門集団を理念に掲げ、独自の経営戦略のもと、急成長を遂げている、税理士法人近代経営研究所があります。代表である栗谷利夫氏は、中学時代、仏門修行に入り、アルバイトで学資金を賄い、大学を卒業した後、病院理事長の経歴を経て、31歳の時に開業しました。

同社は、栗谷氏が病院理事長を経験していることもあり、その経験とノウハウから、特に医療業界からは、絶大な信頼を得ており、九州トップクラスの実績を誇っています。そんな栗谷氏は、従業員が306名（ファーム合計）となった今でも、朝6時に出勤し、夜11時まで誰よりも働いており、このような栗谷氏の背中を見て、人柄に惹かれ、社員は成長していくそうです。

さらに、「若い人にチャンスを与えて、やりたいことには、どんどんチャレンジして欲しい」との思いから、社内でビジネスを立ち上げたいとの意見があれば、全力でサポートするそうです。懐の広さを感じます。

栗谷氏の言葉に、「民幕府」とあるように、私達、民間人が自ら考え、世の中を動かしていくためにも、今の内から、専門性と人間性を身に付けることを意識して、いつかは栗谷氏のような、スペシャリスト&ヒューマニストになりたいものです。

今日の心がけ◆専門性と人間性を身に付けましょう。

M & Aの理想形

ライブドアVSニッポン放送、村上ファンドVS阪神電気鉄道。2005年当時、相次いで暗礁に乗り上げられた敵対的買収。業界再編や利益追求など、その意図は様々ですが、M & Aに対して、良いイメージを持つ人は、そう多くはないのでしょうか。

そんな中、買収される企業にとつての幸せを目指し、積極的に買収を行っている企業があります。創業35年。パソコンなどに使われるハードディスク用駆動モーターの分野で、世界トップシェアを誇る日本電産です。

わずか4人で始めた会社が、いまや従業員13万人、グループ社140社、連結売上高7,421億円、株式時価総額1兆円を超える大企業へと成長しました。その原動力は、高い技術力のみならず、優れた技術を持ちながら、赤字に苦しむ他企業を次々と傘下に収め、瞬く間に再生させていく、M & A戦略に支えられています。

日本電産の創業者である永守重信氏が、M & Aにおいて鉄則としているのが、「買収する相手は、(モーターなど) 回るもの、動くものに関わる事業のみ」「交渉は相手が納得するまで行う」「買収した会社は絶対に切り売りしない」「買収後、リストラは一切しない」の4つです。

永守氏の言葉に「世界で最も人が働く会社を創りたい」とあるように、雇用を生んで社会貢献する方法もあるようです。

今日の心がけ◆全員の幸せを考えて行動しましょう。

真田幸村さなだゆきむらという名前は、人生で一度は聞いたことがあると思います。戦国時代の武将の一人として、今なおその名は人々の心の中に存在しています。

現在NHKで放映されている大河ドラマ「真田丸さなだまる」では、真田幸村の本来の名前である、真田「信繁のぶしげ」という名前が用いられています。しかし、信繁の生前の書物には、幸村という名前は出てくることなく、夏の陣で信繁が討たれた後、敵である徳川軍で「諱いみな」として語り継がれたのが、幸村という説が有力となっています。

真田丸というのは、大阪冬の陣で豊臣軍に加勢した信繁が、徳永軍の猛攻もうこうを食い止めるべく建てた防壁ぼうへきのことで、信繁は、真田丸を駆使くしして、わずか7千人の兵士で7万人の軍隊を退けました。そのことから、信繁は両陣にんちから最強の兵ものぶとして後世まで語り継がれ、名を変え、幸村として今現在でも広く認知されています。

歴史に名を残す武将や賢人けんじんを現代の我々が認知できているのは、その人が多くの人に認められ、多くの文献が残っているからでしょう。我々が後の世代たちに認知されるには、同じく多くの人に認められ、多くのデータを残すことが必要となります。

もし後世に語り継がれるような偉大な人になりたいという大きな夢を持つのなら、ただ功績を残すだけでなく、多くの人に認められるような寛大な人物かんだいになりましょう。

※諱：死後に贈られる名前のこと。

今日の心がけ◆歴史に名を残しましょう。

みなさんは、管理会計の重要性についてどれだけ認識されているでしょうか。

管理会計とは、会社内部での管理・運営を行うためにある会計手法であり、検定試験では、工業簿記・原価計算の範囲になります。検定試験では、工場を舞台に問題が出題されることがほとんどであり、工場で働く人以外は関係ないと思っている人もいるでしょう。

先日、就職説明会で、あるラーメン屋に行きました。なんとそこでは「ABC（活動基準原価計算）」を使って、価格の決定や原価の削減を行っていました。実際その会社は、七期連続で増益ぞうえきしており、その背景には、会計士との徹底的な話し合いを行っているそうです。

インターネットを使えば、何でもすぐ簡単に情報を知ることができるように、私たちが生きているこの時代では、技術の発展により、「知識の価値」が無くなりつつあります。つまり、単純作業員や物知り博士では、稼ぐことが出来なくなつたということです。これからの社会、管理会計の有用性はますます高くなることでしょう。検定試験だけではなく、自分なりに考え、実務でどう活かしていくかが鍵となると思います。

今日の心がけ ◆ 「子しのたま曰まわく、学まなびて思おもわざれば則すなわち罔くらく、思おもいて学まなばざれば則すなわち殆あやうし。」

みなさんは、周りを見て行動することができていますか。

自分のことだけで精一杯になっていませんか。

例えば、落ちているゴミに気づくこと、周りの人の気持ちに気づくことなど、いろいろな場面での「気づき」が考えられると思います。

どんなに小さな気づきでも、周りの人のことを考えて行動に移すことが、誰かにとっての幸せになるかもしれません。

私たちは、家庭・学校・地域など、集団の中で生活しています。そのような環境で、それぞれが快適に過ごすためには、一人一人が周りを見ることが大切です。

今日の心がけ◆周りを見て行動しましょう。

趣味の可能性

趣味とは、いわば好きなこと、していて楽しい事柄ことを指し、人間誰しもが、趣味を嗜たしなむことを幸福に感じます。

人は、プライベートな時間の時に、日々のストレスを発散する意味でも、趣味を嗜たしなみます。誰にも邪魔されることなく、心置きなく好きなことが出来るというのは、人間にとって最大のストレスヘッジであると言われています。

学生ならば、授業が終わり、やることもやって、時間があるという時に趣味を楽しむのも良いですし、社会人ならば、休日を利用して趣味に一日費やすというのも、面白いかもしれません。

しかし、社会に出ると、人生の3分の1以上は仕事漬けになってしまい、なかなか趣味に時間を充あてることができないという人もいるかもしれません。人生の大半を楽しめないというのは、非常にもつたいないことです。

ならば、趣味が関係してくる仕事をすれば、仕事も楽しくなると思います。趣味から派生させて仕事を探すのも、一つの仕事選びの方法であるのではないでしようか。

今日の心がけ◆趣味から視野を広げてみましょう。

嘘、なんとも疎ましい言葉です。しかし、「嘘も方便」、嘘があるからこそうまくいくことがあるのも、なんとも皮肉な世の中です。

大なり小なり、人は嘘をつきます。それが、悪いことなのか、良いことなのか、その時にならなければ分かりません。あるいは、その時になっても分からないかもしれまん。

もし、将来、自分の親、伴侶や子どもが、余命宣告をされた時、「あと数年しか生きられないそうだ。」と現実を伝えますか。それとも、「大したことないけど、ちょっと入院せなんよ。」と、本人の生きる意志を失わせないために、嘘をついて、黙っておきま

すか。

これには、賛否両論あると思います。

嘘をつくときは、時として、それ相応の覚悟を持つことが必要です。それと同時に、嘘をついたことに対する責任も付きまといま

す。

今日の心がけ◆「嘘」には責任を持ちましょう。

みなさんは、人の気持ちがわかりますか。心理学の世界では、人の仕草で心理を読み解くことがあります。

たとえば視線の向きです。感覚や感情を司る、右脳が働いているときに視線は左上を向き、理論や言語を司る左脳が働いているときは右上を向きます。つまり、何か質問をした時、右上を向いていたら嘘をついている可能性が高いという事です。

論語にこのような章句があります。「子曰く、詐りを逆えず。信ならざるを億らず。抑も亦た、先ず覚る者は是れ賢なるか。」騙されたりしないか、疑われたりしないかと考えないで真摯に人に向き合い、相手の本心を見ぬくことができる人を賢者と呼ぶという意味です。

人間社会で生きていくためには、人と関わることを避けては通れません。社会で楽しく生きていくためには、人の気持ちをよく考えて行動したいものです。

今日の心がけ◆人の気持ちを考えましょう。

近年、日本では、巨額の横領事件^{おうりよう}、人命に関わる不良製品の発生、食品表示の偽装、大量の個人情報^{ろうえい}の漏洩^{ろうえい}など、重大事件が頻発^{ひんぱつ}しています。これらの事件は、よく知られている企業が多いため、被害を受ける人（ステークホルダー）の数は計り知れませんが、このような社会背景もあり、多くの企業では、内部統制の構築^{こうちく}に本格的に取り組んでいます。また、会社法による法的責任の明確化により、内部統制に対する意識も高まるようになりました。

現在の厳しい経済競争を勝ち抜き、生き残るためには内部統制は不可欠^{ふかけつ}の要素です。内部統制が機能していない会社には、優秀な人材は集まらず、むしろ人材流出の危機にさらされたり、投資家から見放され、株価が下落し、買収される危険にさらされることがにもなりかねません。

企業が適切な内部統制を構築することは、このような不安要素を払拭^{ふつしよく}し、安定的な企業活動を継続していくことにつながるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆組織の在り方を考えましょう。

初代ドイツ帝国宰相さいししょうのオットー・フォン・ビスマルクの言葉に、「愚者ぐしやだけが自分の経験から学ぶと信じている。私はむしろ、自分の誤りを避けるため、他人の経験から学ぶのを好む」という言葉があります。

日本では、「愚者は経験に学び、賢者けんじやは歴史に学ぶ」という言葉に訳され、多くの人に知られています。

このように、私たちにとって歴史を学ぶ手段のひとつとして、歴史書があります。歴史書は、文献ぶんけんや遺物いぶつ、遺跡いせき、画像ずざう、口頭伝承こうとうでんしやうなどの史料しりようから、先人たちの考えや行動からどのようなことが起こったのかを経験はできずとも、教訓きょうくんとして学ぶことができます。

また、小説を読めば想像力がつき、実学書じつがくを読めば、これから生きていくうえで困ったときの良い指針ししんになるかもしれません。詩集は、感性や表現力を磨くことができます。本から何を得られるかは、人それぞれです。しかし、どうせ読むのならば、自分の身になるように、考えて読むといいですね。

今日の心がけ◆本から学びましょう。

みなさんは、大事なことを、ぎりぎりになって思い出すという経験はありますか。

物事を忘れないようにするためには、メモを取ることが効果的と言われています。

まずは、メモを取る習慣をつけ、次に、メモを見る習慣をつけましょう。そのためには、いつも紙とペンを持ち歩くことが大切です。

メモを取ることによって記憶定着力が上昇し、内容を忘れたとしても、すぐに確認することが出来ます。

人間の脳は、もともと忘れやすい構造になっているので、自分の記憶を過信かしんしないようにしましょう。

今日の心がけ◆メモを取りましょう。

みなさんは、フランチャイズの仕組みを正しく理解できていますか。

フランチャイズとは、本部が、商号・商標しょうごう・しょうひょうなどを使用する権利や、営業上のノウハウなどを加盟店に提供し、加盟店がこれに対して対価を支払う約束によって成り立つ事業契約のことです。

フランチャイズには、低コストで事業を拡大でき、店舗や土地の取得にかかる費用などを抑えることができる本部側のメリットに加え、開業から実務に至るまでのノウハウを、比較的短期間で容易に身につけられる加盟店側のメリットがあります。

その一方で、本部側では、多数の店舗管理が必要とされるため、計画通りに商品を提供できないことがあり、加盟店側では、店舗や備品などを、本部の指示で取得することによって、起業した時よりも資金が多くかかることなどが挙げられます。

これらの問題点を解決するためには、本部と加盟店で強い信頼関係を築き、お互いが協力することが大切です。

今日の心がけ◆フランチャイズの仕組みを理解しましょう。

マナーには、テーブルマナー、交通マナー、ビジネスマナー等たくさんの方が存在します。

これから、私たちは社会人として、たくさんの方のマナーを守る必要があります。

しかし、その根底にあるのは、小さいころから言われ続けている、基本的な習慣だと思えます。

例えば、食事をする際には、お茶碗ちやわんをもつ、肘ひじをつかない、寄せ箸よせはしをしない、食べ物突き刺さない等、ごく当たり前のことを、学生のうちにしっかりと身に付けておくことが重要です。

このように、学生のうちから、基本的なマナーを身に付けているからこそ、社会に出てマナーを守れるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆基本的な習慣を大事にしましょう。

みなさんは、きちんと感謝の言葉を伝えられていますか。

口下手なMさんは、一旦タイミングを逃すと、なかなか感謝の言葉を口にするのが難しくなってしまう。何と切り出せば良いか分からないのです。

そのまま数日経ち、結局伝えることができないことも少なくありません。

そこで登場するのが、「サンキューカード」です。学校に設置されている「サンキューカード」を使えば、口下手なMさんでも感謝の言葉を伝えることができます。形としても残るので、貰う相手も嬉しいのではないのでしょうか。

みなさんも、様々な方法で感謝を伝えてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆感謝の言葉を伝えましょう。

私たちは、普段コミュニケーションの手段として言語げんごを用いています。言語には、言霊ことだまという言葉が存在するくらい、大きな影響力があるのです。

しかし、果たしてどれ程の人が、きちんとした日本語を使っているのでしょうか。

就職活動でも、面接など様々な場面で、相手に何かを伝えるとき、上手く伝えられず、日本語の難しさを痛感つうかんしているのではないのでしょうか。

最近、私たちのボキャブラリーが、「聞いて・見て・発する」ことで作られていくことを知りました。

これからは、誰かに何かを伝えるとき、相手にとっても自分にとってもプラスとなるような言葉を使っていきたいものですね。

今日の心がけ◆素敵な言葉を使いましょう。

現代は、情報化社会とも言われ、ほとんどの人が、どんな知識でも簡単に入手することができるようになっています。

しかし、日本では、そのような中でも学校に行き、勉学に励んでいる人が約2,000万人もいます。参考書やインターネットを使えば、家でも知識を得ることができるのに、なぜ、私たちは学校へ行くのでしょうか。

それは、学校がただ単に知識を得る場というだけでなく、種々様々しゆじゆさまさまな人たちとの集団行動を通じ、協調性、自己の人格形成を養やしなうことができる点にあると思います。

これは学校だからこそ身に付けることができるのではないのでしょうか。

私たち専門学校生は、いよいよ最終段階です。社会に出る大切な準備段階という意識を持って、日々を過ごしていきたいものです。

今日の心がけ◆何が社会で大切かを考えましょう。

この文章は、ある小学校の、卒業文集に載^のっているものです。

「私が今までで一番感謝したい人は、親です。私が生まれてきてから、今日という日まで私を育ててくれました。ご飯を作ってくれたり、洗たくをしてくれたり、遊びにつれていってくれたり、習い事を習わせてくれたり……。挙げていくときりがありません。それほどお世話になっていっているということです。」

他にも、学校であったことをいそがしいのに聞いてくれたり、なやみごとを聞いてくれたり、私が目標を達成したときは一緒に喜んでくれたり、たくさんたくさん心の支えになりました。その中でもいつもうれしく感じるのは、私が習字で賞を取ると、遠くても近くても必ず作品を見に行ってくれることです。楽しい時も、悲しい時も、いつもそばにいてくれた家族は私の大切な存在であり、私の大切な宝です。

人生はまだまだこれからです。今はただ、小学校を卒業し、中学生になるだけで、これからもずっと親にはお世話になります。将来、何の仕事をするのか、何をしたいのか今はまだ分かりません。でも、絶対にいつか、恩返しできるよう、りっぱな大人になりたいです。」

成長が進むにつれ、親への感謝は薄れていくものです。しかし、親のお陰^{かけ}で成長できている今だからこそ、感謝を改めて伝えることが大切なのではないでしょうか。

今日の心がけ◆親への感謝を伝えてみましょう。

幽霊、ゴースト、ファントム…。世界中、様々な呼び方で言われる彼らは、生前に殺された恨み、悲しみを抱えて、あるいは、責任を果たせなかった無念からなど、いろいろな形で生者のもとに現れます。

果たして、彼らは本当に実在するのでしょうか。語り継がれている話は、ただの見間違いや作り話なのでしょうか。

実際、科学的には、幽霊はいないと考えられています。

例えば、心霊写真は、シミュラクラ現象と言う、人の脳が、3つの集まった点を、人の顔と錯覚する現象によって見えるものとされており、墓地や橋での目撃談は、墓石や鉄骨に科学的要因で電気を帯び、それが放電されたものといったように、実に多様な根拠付けがなされています。

しかし、科学による根拠付けは、所詮、後付けでしかありません。本当に幽霊が実在するのか、誰にも分かりません。分かるとしたら、きっと、自分が死んだときでしょう。

今日の心がけ◆自分と違う意見も、聞いてみましょう。

共感とは、他者と喜怒哀楽きどあいらくの感情や思考を共有することを指し、相手の気持ちを理解するだけでなく、自分自身も相手と同じ感情をもつことです。

人は、想いや考え方、行動などを共感できる人が近くにいると安心します。「類は友を呼ぶ」「類を以て集まるもつ」「牛は牛連れ、馬は馬連れ」など、気の合う似通ったものが自然と集まって仲間を作るものである、という意味のことわざからも分かります。

共感者というのは、集まれば集まるほど、とても大きな力になります。同じ志を持った仲間が居ること、自分自身の力だけでなく、より良いものを作り上げ、偉業いぎょうを成し遂げることができます。

しかし、考えに共感できるからと言っても、すべてがその人の意見と同じであるとは限りません。一人の人間として、時には意見が異なるときもあるでしょう。

そのような時は、「なるほど。そういう考えもあるのか」と受け入れる柔軟じゅうなんさも持つておきましょう。

今日の心がけ◆自分の考えを持ちましょう。

みなさんは、自分に自信がありますか。日本人は、自信がない人が多いという話をよく聞きますが、果たして本当にそうなのでしょいか。

平成25年度の内閣府の意識調査によれば、自分自身に満足しているという人の割合は、日本が46%、それに対してアメリカは86%と、調査の結果から分かるように、自信のない人が多く感じます。

いったいなぜ、日本人には自信のある人が少ないのでしょうか。それは、信じる力が足りていないことが一因いちいんと考えられます。「自」分を「信」じる、と書いて「自信」と読むように、自分自身を信じる事が出来ていない人が多くいるのでしょい。

そして、その自信を失わしている原因は、謙虚さにあるのではないでしょいか。確かに、謙虚さは大事ですが、時には自信を持って思いを伝えることも、大切だと思ひます。

自信に満ちた人物を目指すなら、自分の思いを持ち、自信を持って表現することも必要なのかもしれませぬね。

今日の心がけ◆信じる気持ちを大切にしましょい。